

# 喜多流

平成二十九年 七月一日(土) 午後二時開演(午後一時三〇分開場)

おはなし 馬場 あき子

能 烏頭 友枝 昭世

撮影：前島写真店

CERULEAN TOWER

能楽堂

NOH THEATRE

おはなし

馬場あき子

休憩(十五分)

千代童 大村 稔生

狐師の妻 佐々木多門

狐師の霊 友枝 昭世  
老人

# 能 烏 頭

浦人 高澤 祐介

旅僧 森 常好

大鼓 亀井 広忠  
小鼓 曾和 正博

笛 一噌 隆之

後見

塩津 哲生  
中村 邦生

地謡

友枝 真也 狩野 了一  
友枝 雄人 大村 定  
金子敬一郎 香川 靖嗣  
内田 成信 長島 茂

〈終演予定 午後4時00分〉

## ◎烏頭(うとう)

旅の僧が陸奥国外の浜へ行く途中、越中国立山に立ち寄り、地獄さながらの景色(立山地獄)を見て恐ろしさにおのきつつ下山します。ふもとで人の老人に出逢い、外の浜へ下つたら、去年の秋に死んだ狐師の家を尋ねるように言われます。その妻子を尋ね、家にある蓑笠を手向けてくれるようにと老人は頼み、自分の着ていた麻衣の片袖を引きちぎって渡します。(中人)片袖を持って僧は外の浜に赴き、土地の者に狐師の家を尋ねます。教えられた家に行き、狐師の妻と子供に事の次第を語り片袖

を渡すと、妻は夫の形見を取り出し、それに合わせるとびつたり合います。妻子は蓑笠を手向け、僧と共に回向していると狐師の霊が現われ供養を謝しつつ、生前多くの鳥獣を殺した思い、罪科を仏の力で消してくれるように頼みます。妻子は狐師の姿を見て泣き、狐師が我が子の髪を撫でようとしますが、雲霧に妨げられて子供の姿が見えなくなります。狐師は生前の殺生を悔い、烏頭を捕える様子を物語りその報いで今は地獄に落ちて責め苦を受けているとその様を見せ、この苦しみを助けて欲しいと訴え消え失せます。

平成29年

# 7月1日(土)

午後2時00分開演(1時30分開場)

◎前売開始：平成29年4月1日(土) 午前10時00分より

◎料金：S席(正面) 12,000円  
(税込み)  
A席(脇正面) 10,000円  
B席(中正面) 8,000円

◎チケット申し込み：

Bunkamura チケットセンター 03-3477-9999  
オンラインチケットMY Bunkamura <http://my.bunkamura.co.jp/>  
Bunkamura チケットカウンター (Bunkamura 1F 正面入口右手/10:00~19:00)  
東急シアターオーブ チケットカウンター (渋谷ヒカリエ2F/11:00~19:00)

※都合により公演の一部(出演者・曲目等)を変更する場合がございます。ご了承ください。  
※休憩時間に、能楽堂隣「金田中」入り口にて、軽食・飲み物の販売をいたします。  
※セルリアンタワー東急ホテルでは、お食事とチケットをセットしたお得なプランをご用意いたしております。  
(お問合せ・お申込み)タワーズレストラン「クアーカニー」03-3476-3404(10:00~22:30)

「渋谷駅」国道246号線沿いにそびえる超高層ビル「セルリアンタワー」の地下2階。

